

# 会議録

会 議 名	令和5年度（2023年度） 第2回八王子市スポーツ推進審議会（書面開催）
会 議 成 立 日	令和6年（2024年）3月29日（金）
意見書提出委員	池田美枝、薄井信一、澤本則男、鈴木紀幸、松井秀夫、松本佐登美、泉慎一、橋本和秀、園山直樹、三浦壮次、作野誠一、高田彬成、白石幸平、林廣子（名簿順）
議 題	第2期八王子市スポーツ推進計画について
報 告 案 件	令和6年度（2024年度）当初予算案について
配 付 資 料 名	(1) 諮問書（写）及び資料説明書≪諮問書≫ (2) 第2期八王子市スポーツ推進計画について【資料1-1及び参考資料1～5】 (3) 議題資料説明書【資料1-2～資料1-6】 (4) 令和6年度（2024年度）当初予算案について【資料2、資料3-1、資料3-2】

## 【意見書の内容】

≪議題：第2期八王子市スポーツ推進計画について…学校部活動の地域連携・地域移行

発言者	内容
高田	中学校の部活動運営の在り方については、教員の働き方改革の一つとしても改善すべき課題であると捉えています。本市設置の部活動検討会議において、活発な意見交換と今後の部活動運営の在り方についての建設的な議論に期待します。その際、忘れてはならないのが、生徒の皆さんの不利益につながらないことが大前提であるということです。本審議会としても、検討会議での議論を注視していきたいと考えます。
三浦	学校部活動を持続可能なものとするために、八王子市教育委員会が推進する「部活動改革」の趣旨を踏まえて、地域連携や地域移行の推進が図られるよう、地域の文化芸術・スポーツ関連団体からの指導者の派遣を積極的にお願ひしたい。
鈴木	◎スポーツ、レクリエーションの活動場所を学校の施設を使い、多くの学校にスポーツ団体を点在させて、部活動に参加できるように場所の拡大と参加機会の拡充を図る。 (目的) ・学校、地域、家庭(保護者)、各団体、利用者(小中学生)が、身近に安心して活動できる環境がさらに整い、様々な地域性のある種目に多くの子どもが参加できる。 (理由) ・地域スポーツ団体の紹介シートでは、各団体の活動場所が、市民体育館など様々な場所のため参加しにくい場所がある。学校施設に活動拠点を置くことで、場所がわかりやすく、より身近で開催することで参加しやすくなり、加えて学校施設の有効活用が図れる。 (活動方法) ・学校、市教育委員会が運営団体となり、指導にあたる運営主体をスポーツ団体に委託し、午前中を部活動で指導を行い、午後はスポーツ団体が主体的に活動にして、そこには小中学生や教員も参加できる。団体は安定した活動場所を確保できる。 学びの循環の創出につながる。

鈴木	<p>(課題、対策)</p> <p>・現在、学校施設は、地域総合型スポーツクラブやその他団体が使用しているので、その調整が難しいと思いますが学校が中心になることで、地域の利用者のみなさんが、お互いの顔が見えて安心して集い活動でき、活気のある場所になるように期待できると思います。</p>
池田	<p>横川総合型地域スポーツクラブといたしましては、加盟しているクラブが少年サッカー・少年野球、バドミントン、インディアカ、グラウンドゴルフになりますので、少年サッカー、少年野球に関しては小学生が主体ですので、中学生となると、各クラブ担当者に確認してみないとわかりませんが、小学生でやりたい方はお問合せください。バドミントン・インディアカ・グラウンドゴルフに関しては、シニア主体の団体となっておりますので、小中学生となると、難しいと思いますが、それぞれのクラブで希望者は受入れています。前の会議の時にも申し上げましたが、小学校が使用できないときには、中学校が使用可能にさせていただきたいです。</p>
白石	<p>掲げられている方向性については、異議はございません。</p> <p>このテーマはまさに全国的な課題でもあり、八王子市がその先端的な事例やそれを支える体制を構築されることを望んでおります。</p> <p>他方、これを支える人材の確保やその持続可能なエコシステム作り、それに向けた財源の確保など、もう一歩進んだプランニングやそれに不足しているリソース、あるいはそれらのタイムラインを伺いたいです。</p>
作野	<p>資料 p.3 の図において、学校と地域には教室やイベント以外の重なりはないが、継続的な活動を含めてこの重なり部分を豊かにする必要があるのではないかと。</p>
林	<p>少子化により、地域によっては、学校統合や廃校が起こっています。少子化に対して、スポーツの種目は多様化し、学校単位では、部員不足、指導教員不足により、部活動が成り立たない現状であることがわかります。そこで学校部活動を地域施設に移行して、ある程度のまとまった人数を確保することで、活動が可能となりえます。常に学びを共にする者以外の人たちと交流することとなり、例えば小中学校、中高合同体制にすることもできて、新たな視野が広がり、コミュニケーション力を磨くこともできるはずです。</p> <p>また、まとまった人数であれば、民間のスポーツ指導者、地域の大学、または大学のOB、関係団体が、指導を担うことが可能となり、スポーツ種目を楽しむ部活動はもとより、応援団やチアリーダー、吹奏楽部等、スポーツ周辺の部活も含めて持続可能になると思います。</p> <p>指導を担う地域側（民間のスポーツ施設、大学、関係団体）から発信される体験会や試合見学会等の情報は、とても魅力的で、子どもたちの意欲を高め、経験不足を減らし、やりたいスポーツの選択肢を増やすものになると期待します。</p>
薄井	<p>協力したいと思います。実現のためには、話し合いが必要です。私はグラウンドゴルフですが、学校に出向いていくことが可能です。</p>
松井	<p>地域連携・地域移行については、概ね賛成です。30年位前から学校での部活動で支えきれない部分を地域の詳しい方に専門的に見てもらい、部活動に興味を持った子供達（中学生）もいたようです。</p> <p>以来、様々な形をかえて、今の時代に合ったように変えていけばよいのでは。親がしっかりと現状を理解し、活動を支えていくことが大切だと思います。</p>

≪議題：第2期八王子市スポーツ推進計画について…学校体育施設の有効活用

発言者	内容
高田	<p>学校体育施設の有効活用については、従前の不便利や非効率さの課題等を再度洗い出し、改善に向けた仕組みづくりの構築が求められます。デジタル社会に対応した使用管理システムの運用、セキュリティアラームの解除・設定等を含め、教職員に頼らない施設の開錠の運用、バリアフリー化や安全対策を含めた施設の修改善の推進等、一つ一つの課題に一步一步取り組んでいただきたいと思います。その際、所管課との連携を密に図り、オール市政で取り組んでいただけたらと願っています。なお、本課題は、部活動の地域移行とも連動する問題であることにも考慮する必要があることを追記しておきます。</p>
松本	<p>私の推薦母体「恩方夕やけスポーツクラブ」での取り組みを参考にお話しさせていただきます。</p> <p>恩方地区は小学校3校、中学校1校をクラブで学校体育施設の運営・管理を担当。新しく利用を望む団体があれば、その都度利用日程の調整を行っています。クラブでは、年2回程度、利用団体、副校長と学校施設開放委員会会議を開き情報共有を図っています。会議の準備、進行もクラブで実施し、副校長の負担は比較的軽いと思われませんが、新しく利用したい団体が増えることに協力的な副校長、残念ながら面倒なのか難色を示す副校長もいらっしゃいます。市で学校体育施設の有効活用を呼び掛けているのなら、学校側にその取り組みを理解していただけるよう働きかけていただきたいと思います。</p> <p>現状クラブでは障害者団体、個人の利用要望はありませんが、今後、障害者の方々の受入を可能にするために、どのように進めていくかを含め、検討中です。そのため、今以上に理解のある学校側が運営には必要となります。</p>
池田	<p>学校側の窓口である副校長先生に御連絡を申し上げても、お答えをいただけないことが多いです。そうなりますと、クラブをこれ以上増やしても、有効活用していくのは難しいです。</p>
白石	<p>こちらで示されている方向性や方針は是非実現頂きたいです。</p> <p>市民/国民がスポーツ活動を適切に行うために非常に重要なポイントだと考えております。示されている持続可能な仕組みづくりはまさにその要諦であり、いち市民/国民としても早期の整備を望みます。</p> <p>他方、この実現が簡単なものではないことも理解をしておりますので、実現に向けた具体的な課題を明確に知りたいと考えております。(これらの中には定性的な、様々なコンテキストが入り組んだものも含まれると思料しておりますが、これらも可視化していくことが第一歩になると考えております。)</p>
作野	<p>・資料 p.6「学校開放事業における運営について、指定管理者制度や業務委託等を活用し、民間事業者等にゆだねていくことを検討することが望ましい」とあるが、ここに本市の特徴ともいえる総合型クラブをはじめとした地域組織も例示することはできないか。施設利用の効率化をめざす一方、それによって地域スポーツ組織の活性化にも資するようご配慮いただきたい (cf:久留米市の事例)。</p> <p>・学校開放や共同利用に関わる現行の規則や手続きの見直しにも言及していただきたい。</p>
林	<p>公共の体育施設も、学校の体育施設もそれぞれが、老朽化したら、改修工事をするを繰り返しています。全国の人口減少に遅れて、八王子市も人口減少に転じ、これからは、新規の施設建設は、必要性からも財政面からも困難であることがわかります。改修工事も、全部を行うことは同じ理由で難しいため、官民合わせて市全体で考えていく必要があります。そ</p>

林	<p>ここで、圧倒的多数の学校体育施設の有効活動は、市民のスポーツ活動の場を確保するために、とても有効であると考えます。</p> <p>開かれた学校というのは、近年、安全面が危惧されるため、本人確認、入退館の人数確認等を二次元コード等でデジタル化することにより、セキュリティ対策になり、スピード効率も上がると考えます。</p> <p>学校側の人的負担を軽減することは必須で、それには業務委託をすることになります。そして水道光熱費等のランニングコストも発生するため、利用料徴収は納得のいくものと思いません。</p>
薄井	利用しています。今のままで結構です。
松井	有効活用多いにやるべし。その上でより良い所を目指すなら大学コンソーシアムの方々が会議に入っているのなら大学の施設を使わせていただくのも子供達の夢が広がると勝手に思っています。

≪議題：第2期八王子市スポーツ推進計画について…デジタル化の促進

発言者	内容
高田	<p>本市民の豊かなスポーツライフの実現に、DXが追い風となることへの期待感が高まります。デジタル化によって施設予約がしやすくなる、利用申請書が簡素化される、利用料がスマホ決済になる、専用アプリで市のスポーツ情報が一元化できる等、技術的に可能なことばかりだと思いますので、できることから順次導入していただきたいと考えます。その一方で、デジタル弱者と呼ばれる方々への配慮も忘れてはなりませんので、アナログ対応を一掃することのないように丁寧に進めていただきたいところです。</p>
泉	<p>市内競技場等において、VRなどの経験やオンラインボッチャなどのオンラインでの対戦。会場に居ながらにして、競技場の雰囲気を楽しむことができるなど。</p> <p>eスポーツなど、病虚弱、肢体不自由のある方などが参加しやすい形態の工夫。プログラミング相撲などの新たな競技の開発など。</p>
池田	<p>クラブハウスを持っていないため、八王子市や東京都からのお答えは代表である私がやらせていただいておりますので、自宅にパソコンはありませんし、スマートフォンも十分には使いこなせない状況ですので、すべてをデジタル化とさせてしまっても、対応できない面もあります。</p>
白石	<p>「DX」は、ツールのデジタル化もその要素の1つかと思いますが、同時に組織そのものや意志決定プロセスの変革とセットになってはじめて実現をすることかと考えております。その観点で、八王子市として考えているポイント等があれば、お示し頂きたく考えております。</p>
林	<p>様々な生活環境の中、市民が孤立することなく、情報格差を無くし、広く情報を行きわたらせるために、DXが推進されています。それにより、スポーツを楽しむ機会も豊富になると思います。例えば、スポーツTOKYOインフォメーション「だれでもフィットネス」は、自宅であっても体育館であっても、場所を選ばずにリモートで運動をすることが可能になります。オンラインでは、運動施設の営業時間の確認、駐車場の空き情報のリアルタイムの取得、予約等の手続が可能となります。また二次元コードを使って、本人確認や年齢確認、入退館記録など、確実にスピーディーに行えると言った大きなメリットがあります。わかりやすく、誰でも活用が出来るように留意しつつ、益々促進されることを願います。</p>
松井	<p>多様性の方々がいらっしゃる中でデジタル化の促進は不可欠と思われます。</p> <p>ただし、デジタルがすべてではなく、アナログの良い部分をとらえ、デジタル化を促進してほしい。</p>

≪議題：第2期八王子市スポーツ推進計画について…地域の魅力発信≫

発言者	内容
高田	<p>本市は、自然豊かな土地と人々の活気あふれる暮らしが融合した魅力的なまちであると捉えています。スポーツを通じたまちづくりの一環として、地域の特色に応じた発信ができるよう、市政からのサポートが求められます。その一つが、本市の自然や地形を生かしたアウトドアスポーツの充実であると考えます。都心から近く、通勤圏にありながら、豊かな自然を残す本市の魅力を、スポーツ実践と絡めて各地域から発信していくことにより、本市への注目度がより高まるものと考えます。キャンプやグランピングとセットにしたスポーツ体験等の企画、居住者と来場者のスポーツを通じた交流等、市政からの様々な提案と助成を含めた支援が必要であると考えます。</p>
松本	<p>TOKYO八峰マウンテントレイルは毎年、手荷物預かり担当をしている関係で、TOKYO八峰マウンテントレイルという大会があること、開催日程等を知っていますが、意外と地域の皆さんに周知されていませんし、知らない方が多い現状です。とても残念に思います。毎年楽しみに参加される方も多く見受けられるこの大会、また、反対意見もあると聞きますが、この大会が続いて、多くの方に周知されればと思っています。</p>
白石	<p>既に八王子市には多くの魅力的な施策があることを、いち市民として認識をしております。もちろん、こうした魅力的な施策を増やしていくことを考えることも重要であると思いますが、それ以上に、こうした施策をより適切な形で広報/発信をし、次なるプロジェクトの担い手が自然と育つ環境/エコシステム創りを行うことが肝要かと考えます。</p>
作野	<p>・「スポーツ MICE」の内容（スポーツにおける MICE 的事業）は十分に吟味されているのか。一般的なメガ・スポーツイベントとは何が違うのか、これまでとはどこが違うのか、何が目新しいのかわかりにくい。ある程度は外部のイベント等に期待せざるを得ないものの、例えば、「豊かな自然を活かしたアウトドアスポーツの振興」に関連づけたイベントを創造するなど、本市の内的な強みや魅力を活かした取り組みを構想できないか。</p> <p>・「アウトドアスポーツの振興」についてはぜひとも積極的に進めていただきたい。それこそ市民が気軽に参加できる活動から、世界中から人が集まるようなアウトドアイベント、アウトドアスポーツイベントを開催できるとよい。</p>
林	<p>全関東八王子夢街道駅伝競走大会は、昭和 26 年（1951 年）に発足し、今年 74 回目となった歴史あるものです。市民ボランティア、町会、商店会、企業、団体、学生等地域が一丸となって、継承し続けているもので、スポーツイベントのお手本になるものです。</p> <p>そして、高尾山は、2007 年にミシュランガイドで最高ランクの星 3 つを獲得した観光地であり、登山客数においては、年間 300 万人にもなり、世界一とも言われています。</p> <p>八王子市は、プロスポーツの開催等、人々が集まり注目される都市となり、東京たま未来メッセも建設され、基幹産業や大学による MICE の開催が、期待できます。</p> <p>そのような八王子市の魅力を、プレスリリースや動画、SNS 等で国内外に発信して、インバウンドを含め、経済波及効果を創造しうると期待します。</p>
松井	<p>自然を生かした遊びの提供。今ある施設の活かし方（スリーポンドスタジアム・エスフォルタアリーナ等）</p> <p>大学の施設を利用させて頂く。世界大会、日本選手権など八王子に目を向かせるビッグイベントの開催・発信。</p>

≪議題：第2期八王子市スポーツ推進計画について…東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会のレガシーの継承

発言者	内容
高田	本市におけるオリパラレガシーとして、クライミング、自転車競技、パラスポーツの普及等、ターゲットを絞ることで特色も顕著になるのではないかと考えます。一方で、汚職事件と絡めた負のイメージを抱く市民の方々に対しては、行政からスポーツの魅力を発信し続けていくことが希求されます。スポーツを通じたまちづくりの一つ一つが、オリパラレガシーへとつながっていくものと考えます。
泉	八王子市は、推進計画を含め、多角的にレガシーを継承しているので、9つのレガシーを重層的に示し、もっとアピールすることが必要。高尾山登山や裏高尾「誰でもウォーキング」（多様性、バリアフリー）など「健康プログラム」をもっと打ち出し、市独自のレガシーを発信するなど多様な工夫をして、「発信」をして欲しいと思います。
池田	健全者と障害者が共生できるスポーツ活動が望ましいと思います。
白石	「レガシー」がレガシーとなる重要な要件の1つにコミュニティがあるかと思います。各プランとコミュニティの関係性について、プランやアイデアがある場合はご教示頂けると幸いです。
林	東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されて、世界各国の、文化や言語の違う人々が交流しました。そして、様々な障害のある方のための、ユニバーサルデザインが考えられました。2025年には、東京デフリンピックが開催されます。公園やスタジアムのパブリックビューイング等で、コンサートの様にスポーツ観戦をする機会を創出し、いつまでも平和である喜びを享受し合えたら良いと思います。

≪報告：令和6年度（2024年度）当初予算案について

発言者	内容
高田	スポーツ施設管理関係予算については、総論としては増額となり安堵しています。しかし、個別にみると、人件費等の高騰による増額措置は市民サービスの低下を防ぐことにはなっていないサービス向上につながるのか、校庭の夜間開放事業の減額がサービス低下につながっていないか等の心配も散見されます。利用者が増えれば施設の維持管理費も増えることが想定されますが、次年度の予算増額のエビデンスとなる利用促進に向け、継続した取組が大切であると考えます。そうした中、スポーツ振興関係予算については、マイナスシーリングのためか減額となり残念です。先立つものが限られる中、何をすればよいのか、スポーツ推進計画を画餅とせぬよう、知恵を出し合っていきたいと考えます。
白石	本来的にはそれぞれの予算分配のロジックや背景について理解したいという思いはありますが、それは膨大で難しいところもあると思います。そのため、特に増減のあったものに関しての説明等があると嬉しいです。
作野	・「学校施設の有効活用」を大きく掲げるのであれば、それに伴う施設環境整備（修繕等）や活動周知にもしかるべき手当をすべきではないか。年間300千円あまりでできることはごく限られるものと思われる。
林	夜間照明設備の改修工事が、目立ちますが、これは、より多くの時間多くの方が安全にスポーツに親しむためには、必須であると考えます。また富士森公園陸上競技場の第4種L公認更新の為の改修工事も、公認大会を開催するために、必要なものと理解します。 電気・ガス料金の高騰に加え、業務委託に関わる人件費の高騰が目立つようになってきて

林	いますが、これは当然のことであると思います。今後も業務委託化を進めていき、官民が協働してより良いサービスの提供を構築していけたら素晴らしいことだと思います。
松井	東京婦人補導院・八王子少年鑑別所の跡地をどのように活用するのか青写真（設計図）を早く知りたい。